

# 国際ロータリー第2730地区 新会員のための 地区研修会 「ロータリーを学ぶ」

2012～2014年・国際ロータリー研修リーダー  
三木 明（第2680地区、姫路RC）



1

# ロータリーの発生

1905年2月23日  
アメリカ・イリノイ州シカゴ

青年弁護士 ポール・ハリス と  
3人の仲間



2

## ロータリーのはじめの4人



ガスターバス E. ロア (鉱山技師)      シルベスター・シール (石炭商)      ハイラム E. ショーレー (洋服商)      ポール P. ハリス (弁護士)



3



シルベスターシール (石炭商)      ポール ハリス (弁護士)      ガスターバス ロア (鉱山技師)      ハイラムショーレー (洋服商)



4

## ロータリーの誕生

1905年2月23日

弁護士ポール・パーシー・ハリスが、シカゴ・ノースディアボーン街のユニティビル711号室で、3人の仲間に一業一会員制の組織を作ろうと話をしたのが、今日の巨大なロータリーの始まりでした。



5

当時、シカゴの経済状況は悪く、人々の心はすさんでいました。800万人ともいわれるヨーロッパからの移民が安い労働力を求めたアメリカの企業を支えていたのです。殺伐としたシカゴの街で、ポールは、心から信じあえる友を求めていたのです。資本主義の嵐が吹き荒れていたこのシカゴの街で、たった4人の仲間が始めたロータリーは、109年経った今、会員数120万人を擁する巨大な組織に育ったのです。



6



7

## 互惠主義

最初は、弱小実業人および専門職業人がお互いが肩を寄せあって生きていこうという助け合い運動でした。

クラブの仲間だけを大切にしよう、他人に対する「奉仕の心」「奉仕の理想」など一切ないエゴイスティックな団体でした。



8

ロータリアン達が仲良くなってお互いに助け合う、親睦だけのロータリー。会員同士の企業経営上のアイデアを交換することによって、初期のシカゴクラブは、あたかも経営相談所的な機能を果たしていました。この精神的な助け合いによって会員達の企業は栄えていったのです。



9

1906年春、この親睦だけのロータリークラブに世のため人のための発想が芽生えてました。シカゴクラブの二代目会長Albert Whiteの年度、Frederic TweedがDonald Carterという特許専門の弁理士にクラブへの入会を勧誘しました。Donald Carterは、クラブの助け合い運動の説明を聞いてこう言ったのです。



10

『君達は、お互いに助け合って、豊かになって楽しいだろう。しかし、一業一会員制の原則であれば、クラブに入れない同業者は一体どうなるのか。職業人の集まりであれば、職業を持たない地域社会の人達は一体どうなるのか。私達は、この地域社会に生まれ、地域社会に育てられ、地域社会にお世話になって暮らしている』



11

『このお世話になった地域社会に何らの恩返しもしない。何らの足跡も残さないで、自分達だけが助け合って、隆々と栄えていく。そのようなエゴイズムの団体には永続性はないだろう。二度とないこの人生をそのようなエゴイズムの世界におくことは出来ない』



12

ポール・ハリスは、いたく反省し、「ドナルド・カーターの言うとおりに。クラブの行き方を変えよう」「職業人の親睦のエネルギーを世のため人のために使おう」と考えるに至ったのです。



13

このことがロータリー発展の起爆剤になります。クラブ例会で企業経営上のアイデアやノウハウを開発し、それを交換するようになりました。1908年には世のため人のための奉仕のアイデアも交換するようになったのです。親睦だけの、自分たちだけの単なる仲良しクラブではなく「世のため人のために」役立つ人を育てるクラブにしようという、倫理的色彩が出てきたのです。



14

ドナルド・カーターの外部からの刺激により、ロータリーの世界に『我々の親睦のエネルギーを世のため人のために』という考え方が出てきたのです。これはそれまでのロータリーと全く異質の要素でした。



15

1906年12月 シカゴ・クラブ定款を改正

### 第3条

「シカゴ市の利益を推進し、市民のなかに市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること」

これにより、ドナルド・カーターも喜んで入会し、初期ロータリーの伝統形成に大きな役割を果たしました。



16

ここにロータリーにおけるService・奉仕という考え方の物語が始まったのです。と同時に、それは、ロータリー拡大の系譜の始まりでもありました。何故なら、自分達のことしか考えないクラブの親睦からは、「世のため人のための奉仕」という考え方もロータリー拡大の理念も出て来ないからです。



17

1906年以前にはロータリーに奉仕という考え方はありませんでした。「世のため人のため」という考え方は全く存在しなかったのです。ただ、職業人の寂しさ、心の渇きを癒すためにロータリークラブを作ったに過ぎなかった。それは、まさに親睦と相互扶助だけの世界だったのです。



18

昭和10年にフィリピンのマニラで開催された第3回太平洋地域会議に出席する途中、日本に立ち寄ったポール・ハリスが、日本のロータリアンから『あなたは何故ロータリークラブを作ったのですか』と聞かれたのに対し、こう答えたのです。

『格別の意味があったわけではないんだ。ただ、寂しかったんだよ』



19

ロータリーの拡大というのは、「世のため人のための奉仕のクラブであるならば、何もシカゴの街だけにあるべき筋合いのものではなく、全米の地域社会にあって然るべきものです。そこで全米の地域社会にロータリークラブを作ろうということになったのです。



20

### 1907年～1910年ロータリーの危機

親睦・互惠派  
ハリー・ラグルス  
シカゴクラブの多数派

奉仕・拡大派  
ポール・ハリス  
アーサー・F・シエルドン



21

### 全米ロータリークラブ連合会設立

1910年8月にシカゴに16のクラブの代表者を集め、全米ロータリークラブ連合会を設立。ポール・ハリスが会長チェスレイ・ペリーが幹事に就任。

これ以降、連合会が中心になってロータリーの拡大が始まりました。

これによって親睦派、奉仕派の分裂の危機を回避することができたのです。



22

### 第1回ロータリークラブ全米連合会大会 1910.8.15-17 イリノイ州シカゴ



23

### 第2回ロータリークラブ全米連合会大会 1911.8.21-23 オレゴン州ポートランド



24



## 国際ロータリー

- 1912年ロータリークラブ国際連合会発足  
International association of Rotary Clubs  
世界で50クラブ
- 1915年サンフランシスコ国際大会時、  
186クラブ→19の地区(ガバナー制度の創設)
- 1921年 1000クラブを超える
- 1922年 ロサンゼルス国際大会において  
「国際ロータリー」(RI) と改称
- \* RI定款・細則・標準ロータリークラブ定款を  
採用し、以降に設立されるクラブに強制適用  
直接監督権を作った。

## 職業人の倫理運動としての理念の深化

- ・ロータリーの目的(綱領)に  
「事業及び専門職務の道徳的水準の向上の奨励」  
→翌1912年ダールズ大会が初めて  
(To encourage high ethical standards in business  
and professions.)
- ・ロータリー道徳律  
(全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓)  
(1915年サンフランシスコ国際大会採択)
- ・ガイガンディカー  
「A Talking Knowledge of Rotary」(1916)

## 「The Ideal of Service」理念の提唱

- 1918年カンザス・シティ大会での改正連合会綱領  
→(The ideal of SERVICE)  
→1921年エジンバラ大会も同様
- 1922年ロサンゼルス大会での改正綱領  
→(The ideal of SERVICE, the ideal of service,  
the Rotary ideal of service )
- 1923年セントルイス大会における奉仕の実践に関する  
決議23-34  
→(the application of the ideal of service)

ロータリーがどのようにして  
職業倫理を提唱するよう  
になったのでしょうか。

そして、そもそも職業倫理とは  
一体何なのでしょう。

二宮尊徳 にのみやそんとく (たかのり)  
天明7年(1787)相模の国 足柄上郡生まれ

「世のため人のために尽くそう」

「田畑を耕す前に  
先ず心の田畑を耕せ」

奉仕の実践をする前に、  
先ず心を磨いて奉仕の心を作りなさい。

## 「たらいの水の話」・・・

水を自分の方に引き寄せようとすると向こうへ逃げてしまう。

相手にあげようと押しやれば自分の方に戻ってくる。

だから人に譲らなければならない。



31

自分が報われるために・・・  
ではなく、

自分が報いるためには・・・。



32

人間は、皆空っぽのたらいのような状態で生まれてくる。  
最初は、財産も能力も何も持たずに生まれてくる。



33

そのありがたさに気づいた人だけが、他人にもあげたくなり、誰かに幸せになってほしいと感じて水を相手のほうに押しやろうとするのです。



34

幸せというものは、「自分はいりません」、と他人に譲ってもまた戻ってくるし、絶対に自分から離れないもの。その水を自分のものだと考えたり、水を満たしてもらうことが当たり前のことだと錯覚して、「足りない足りない」、「もっともっと」、とかき集めようとするとうつが逃げていくのです。



35

## 「心田を耕す」

心も田んぼである。  
田んぼは人の手でなければ開闢できない。その心田は、もともと両親が耕してくれていたもの。  
自分を世のため人のために使いたいという意欲は、自分たちよりも前に開闢してきた人たちがいることを知り、そこに鍬を入れ、種を蒔こう。



36

### 「心田」

「あらゆる荒廃は心の荒蕪から起こる」  
「心の荒蕪さえ耕したら、あらゆるものが豊かになる」  
「心田の荒蕪を開く、それは、足りない、足りないと言って追い求めるのではなく、生きていることそのものがすでに満ち足りている」



37

日本のロータリーの創始者  
米山梅吉翁は、

『ロータリーの例会は、  
人生の道場である』

と喝破されました。



38

ロータリークラブは、  
ロータリアンが、  
奉仕の心を磨くところ  
なのです。



39

ロータリアンが奉仕の心を磨く。  
それも、一人で磨くのでは  
ありません。  
ロータリアン達が毎週1回  
例会に集まって集団で磨く。  
切磋琢磨するのです。



40

ロータリアン達が例会で  
切磋琢磨することによって、  
心が磨かれるのです。  
ロータリアンがお互いに心を  
磨き合うこと、  
これが「ロータリーの核」にある  
考え方なのです。



41

心を磨く、その意味は・・・  
心を磨く、その「心」とは・・・

それは、人間としてあるべき心、  
即ち、「倫理」です。  
心を磨くという意味は、  
倫理を高めることなのです。



42

ロータリアンは皆、職業人ですから、人間としての一般的倫理のみならず職業の倫理をも高めなければならないのです。ロータリーは、世のため人のために動いていこうというのです。



43

ロータリー運動は、  
**倫理運動、**  
**倫理実践運動**なのです



44

ロータリークラブは、寄付団体ではありません。福祉目的の慈善団体でもありません。ボランティアの団体でもないので



45

ロータリーは災害の救済その他様々な寄付をしています。福祉関係の慈善団体にも多額の寄付をし、ロータリー財団にも寄付をします。ボランティア活動もします。これは、ロータリアンは弱者に涙する人達の集まりでありますから当然

の心となのです。



46

ロータリーは、そのような寄付やボランティア活動をする事は大切なことであるし、しなければならないことではあるのですが…、そこにロータリーの本願はないのです。



47

ロータリークラブは、  
社交クラブとしてロータリアンに  
奉仕の心を育て、  
世の中に倫理を提唱する  
使命をもった団体なのです。



48



ロータリーとは、  
ロータリアンがお互いに  
切磋琢磨し、  
自己研鑽によって心を  
磨く団体なのです。



49

心を磨くこと、  
これがロータリーの本願であり、  
ロータリーの第一義なのです。  
寄付もボランティア活動も  
しなければなりません、  
これはロータリーの第一義では  
ないのです。



50

ロータリーは、倫理運動、倫理実  
践団体として、倫理的な人を育て  
るところに本願があるのです。  
人を育てること、道徳を守る人間  
を作ること、そのことによって世の  
ため人のために動いて行こうとい  
うのがロータリーなのです。



51

#### 標準ロータリークラブ定款

##### 第4条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の  
基礎として奉仕の理念を奨励し、これ  
を育むことにある。具体的には、次の  
各項を奨励することにある。



52

第1 知り合いを広めることによって奉仕  
の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、  
役立つ仕事はすべて価値あるもの

と認識し、社会に奉仕する機会と  
してロータリアン各自の職業を  
高潔なものにすること。



53

第3 ロータリアン一人一人が、個人と  
して、また事業および社会生活に  
おいて、日々、奉仕の理念を実践  
すること。

第4 奉仕の理念に結ばれた職業人が、  
世界的ネットワークを通じて、  
国際理解、親善、平和を推進する  
こと。



54

## Business Men of all Lines”

### 「全分野の企業人(職業人)に 対するロータリー倫理訓」

(P. 41 参照)




国際ロータリー第2680地区  
2007-2008年度 ガバナー 三木 明(翻訳)

私の職業基準には、私たちに共通する人間性に共鳴する記述を含みます。

私の企業取引、望み、様々な関係には、社会の一員としての最大の義務を常に考慮に入れるものとします。

職業生活のいかなる立場、いかなる責任においても、私の主たる思いは、その義務と責任を果たした時に、人間としての理想と成果が、元々自分が認識していた時よりも少しでも高いレベルに引き上げられていることです。

このことにおいて、国際ロータリーの倫理訓の中には、を含むものとします。

56

第1、自らの職業は、価値あるもので、社会に奉仕する機会が自分に与えられているものと考えます。

第2、自らの効率を高め、奉仕を拡大することによって、自らが信ずるロータリーの基本原則である「最も良く奉仕する者、最も多く報われる」を実証し、自らを改善します。

第3、自分が企業人であり、成功を望んでいるのですが、先ず第一に倫理性を持った人間であり、最高の正義と道徳の上に築かれた成功でないならば、それを望まないことを自覚します。



57

第4、自らの商品取引、奉仕、利益に関する考え方が、その商取引に関与する全ての関係者にとって利益をもたらすことを条件として、公正で倫理的であることを旨とします。

第5、自らが携わる職業の基準を高めるために最大限の努力を尽くし、同業者が自分の事例を見習うことによって、賢明で、利益があり、幸福につながるものになるように自らの事業処理を行います。

第6、自らの同業者である競争相手と同等、或いはそれ以上の完全な奉仕をするように自らの事業を實踐し、それに疑問が生じた場合には、負債または義務の厳密な範囲を超えても、奉仕を追加するべきです。



58

第7、専門職または企業人にとって最大の資産は、友人であり、友情から得られる利益こそ真に倫理的かつ適切なものであることを理解します。

第8、真の友人たちは、相互に何も要求せず、自らの利益のために友人間の信頼を悪用することはロータリー精神とは無縁のものであり、ロータリーの倫理訓に反することです。

第9、社会秩序の上で、他者を完全に否定するような機会を不公平に利用して得た個人の物質的成功は、正当でも倫理的でもないことを考え、他の人々も成功を得るために道徳的に疑わしいと思われる機会を他の人たちが利用しないのと同様に自分も利用しません。




59

第10、自分が人間社会の一般の人に対して以上

にロータリーの同僚に義務を負うものではありません。

ロータリーの特質は、競争にあるのではなく、協力にあるからで、ロータリーのような団体には、地方性は決して存在せず、ロータリアンたる者は、人権はロータリー内に留まるものでなく、人類全体に深く、広く及ぶものであり、これらの高い目的のためにロータ

リーが全ての人々と全ての団体にわたって教育する

ロータリーが存在するのです。

60

第11、最後に、「己の欲するところ、人にもこれを施せ」とする黄金律の普遍性を信じ、我々は、この地球の天然資源が全人類に平等に分かち与えられたときに初めて世界が一体になることを断言します。



61

これがロータリーにおける**職業倫理の確立の問題**であり、それ以後、ロータリーは、その**運動の核**として誠に高潔な**職業倫理**を提唱してきたのです。



62

ロータリーが**倫理運動**であるならば、ロータリアンは、倫理運動の担い手として**職業奉仕を实践**をする際にどのような心構えが必要なのでしょうか。日常の職業生活の場でどのように**職業倫理を实践**すればよいのでしょうか。



63

ロータリーは、**職業を倫理的に営みなさい、倫理的な商売をしなさい、と説きます。**



64

ロータリアンは、**全ての生活関係、全ての職業関係において、自分の行動に愛を込める、ということなのです。**

**全ての行動に愛を込めるのです。**



65

「全分野の職業人に対するロータリー倫理訓」の動機には、こう書いてあります。 (P. 44参照)

ひとえに自我の保全のために、個の完成と国家の永久化に基礎を置くギリシャの倫理観ではなく、この倫理訓は、愛を基本におくものです。

即ち、ロータリアンたる者は、自己の保全のために善を行うのではなく、他者を滅ぼすより自分が滅ぼされることを選びます。

それゆえに、この倫理訓は、愛の上に立つものです。



66

ロータリーの奉仕は、先ず自分の職業を愛する職業奉仕が本質的・根源的なものです。  
先ず、自分を愛し、自分の職業を愛し、自分の企業をどのような不況期にも潰れない強靱な体質の企業に育て上げることが職業奉仕の第一義なのです。



67

Guy Gundaker



68

“A Talking Knowledge of Rotary”

「ロータリーの日常の知識」 三木明 訳

1915-16年度ロータリークラブ国際連合会哲学及び教育委員会により編集された4冊の教育パンフレット。

当該委員会の委員長ガイ・ガンデイカーを始め5人によって構成されていました。

この文献は、「ザ・ロータリアン」誌1916年4-7月号にロータリーの教科書として掲載されました。



69

ロータリアンは、ロータリーから各種の職業分野に派遣された代表なのであり、各種の職業分野からロータリーに派遣された代表ではありません。各会員はロータリーの代表として、つまりメッセンジャーとしてロータリーの原理と理想を説き、ロータリーの他人に対する思いやりの精神とロータリーの職業倫理基準をその同業者に伝えるという任務を、ロータリーから課せられることになるのです。 (P. 5参照)



70

ロータリアンは、ロータリーの代表として、自己の職業分野において劣悪な理想といかがわしい商法をやめさせるべき責任を感じなければなりません。



71

ロータリーには他のクラブにない特徴があります。その特徴とは主として教育的性格にあり、各会員に各自の職種に職業倫理向上の理念を植えつけるべき義務を課する点にあります。出席義務を果たすべき確固たる保障のない場合には、その職種の代表とならない方がよいのです。



72

ロータリー・クラブというものは、いわば電流の通った電線のようなものであって、電線というものは、電気が通ったり通らなかつたりするようでは活きた電線とは欠席常習者を罷免する原則は、企業上の決断のごとく断固として行われなければなりません。  
出席率の高い会員こそロータリー・クラブの大きな財産なのです。



73

奉仕とは、人の気づかぬうちに、家の裏口にそっと物を置いてくるといったような、単に物質的な意味をもつものではありません。  
ロータリアン的な意味でいう奉仕とは、心の過程のことなのです。奉仕とは、奉仕すべき人と物とを行動に結びつける心の状態のことです。会員の心の中に、最高の職業倫理基準をなお一層しっかりと植え付けること。  
ロータリアンとは、奉仕能力の涵養に専念する人のことです。



74

ロータリーの意識でいう奉仕とは、精神的な過程をいうのです。  
それは、人と物を行動で結ぶ心の持ち方なのです。  
この不思議な力を持つすばらしい言葉、つまり奉仕、に新しい意味を書き加えていきます。



75

### Herbert J Taylor

Four Way Test was written by Chicago Rotarian Herbert J Taylor in 1932.



76

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか



77

## The Four - way test

Of the things we think,say or do

- 1) Is it the TRUTH ?
- 2) Is it FAIR to all concerned ?
- 3) Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
- 4) Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

78

1954～55年度のRI会長ハーバート・テイラーは、1932年に倒産したアルミ食器会社の再建を依頼され、約10年後に一流の企業に育て上げました。

それを見たシカゴ商工会議所の人達が、テイラーに対し『君は素晴らしいことを成し遂げたね。何か秘密があるだろう。手のうちを明かせよ』と言ったところ、テイラーは『実は、**四つのテスト**というものを考案して、社員が皆で力を合わせて頑張ったんだ』と答えました。



79

商工会議所の人達は、『そのノウ・ハウは、君が成功したことが完全に証明されている。それを皆に披露しよう』

商工会議所傘下の企業家達に公開されることになりました。

これを見て、シカゴロータリークラブの会員達が、『それをロータリーへ譲らないか』

1954年、テイラーが国際ロータリーの会長に就任したのを契機に、その版權を国際ロータリーへ委譲しました。



80

## 日本ロータリー史

1917年 目方男爵を団長とする政府の米国財政調査団に、三井銀行重役米山梅吉が同行当時、テキサスのダラスRCに福島喜三次が在籍していた。(三井物産の子会社社長 日本人ロータリアン第1号)

福島が帰国後、米山に相談。両名の努力とウイリアム・ジョンストンの協力で、1920年10月20日に東京クラブが発足 (登録番号855)

- 創立会員24名
- 初代会長に米山梅吉・幹事に福島喜三次



81

## 東京クラブと関東大震災

創立当初は、野放図なクラブ運営

1923年9月1日 関東大震災

- ガイ・ガンデイカーRI会長から直ちに2万5000ドルの救済資金
- 全世界から8万9000ドルの義援金・救済物資

以後、標準ロータリークラブ定款に基づいたクラブ運営がなされるようになった



82

- 1922年11月 大阪クラブ創立 (東京クラブとは別ルート) (星野行則と大阪に転勤した福島喜三次)
- 1924年 神戸クラブ 名古屋クラブ
- 1925年 京都クラブ
- 1927年 横浜クラブ
- 1927年 京城クラブ
- 1928年 大連クラブ
- 1929年 奉天クラブ
- 1930年 ハルピンクラブ
- 1931年 台北クラブ
- 1928年7月RIは第70地区となること認める(初代ガバナー米山梅吉)



83

## 国際ロータリーからの脱退

»軍国主義の台頭

- 1931年 満州事変
- 1932年 5、15事件
- 1933年 国際連盟からの脱退
- 1936年 2、26事件
- 1937年 日華事変
- 1938年 国家総動員法
- 秘密結社フリーメーソンとの関係を疑われ、干渉・圧迫を受ける(→国旗日の丸の掲揚と国歌君が代の慣行)
- 1940年 日本のクラブはすべて解散・RIから脱退



84

## 解散後の戦時中の活動

- 解散当時 48クラブ 2142名  
(本土外を含む)
  - 解散後、戦時中も、
    - ・東京水曜会 ・大阪金曜会 ・神戸木曜会
    - ・福岡清和会 ・札幌職能クラブ として「まるで隠れキリシタンのように」例会活動
- 戦後の国際ロータリーに復帰するまで



85

## 国際ロータリーへの復帰

- 戦後、国際ロータリーへの復帰はなかなか認められず
- 1946年4月 米山梅吉死亡
- 1946年9月 福島喜三次死亡
- 1947年1月 ポール・ハリス死亡
- 1947年3月 「ロータリー復帰協議会」  
RI第3代事務総長ジョージ・ミーンズ来日
- 1948年 RI理事会 復帰を認める
- 1949年 東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡・札幌の7クラブが復帰 第60地区



86

## 戦後の日本ロータリーの発展

- 1949年 復帰7クラブと20の戦前クラブの復活ならびに2クラブの新設
- 1950年 15の戦前クラブの復活と13クラブの新設
- 1952年7月から地区を東西に分割(東日本60地区・38クラブ 西日本61地区・28クラブ)
- 1952年4月大阪で1地区としての最後の地区大会  
→「ロータリーの友」の発刊決定  
ロータリーソング「手に手つないで」発表  
→ 1952年10月 第61地区の初の地区大会(神戸)の前夜懇談会  
「手に手つないで」小曾根真造 ソングリーダー



87

## 国際ロータリー

(Rotary International RI)

- クラブの連合体
- 奉仕理念の提唱・ロータリーの拡大・情報媒介・連絡調整
- 管理主体・・・会長・会長エレクト・17名の理事で構成される理事会
- 多くのクラブ群の管理の都合上、一定のまとまり毎に「地区」を置き、そこに概念上は「国際ロータリーからの派遣役員」としてのガバナーを置く



88

## 国際ロータリーとクラブとの関係

- もともと「国際ロータリー」は、たくさんのクラブの連絡調整を図るために作られた。
- 国際ロータリーの会員はクラブであって、個々のロータリアンではない。  
(国際ロータリークラブというようなものは存在しない)
- ガバナーはRI理事会の指揮下にあるが、RIとクラブは基本的には対等の関係です。
- ロータリーのプログラムは「推奨」
- クラブには、自治権がある。
- RIには、直接監督権事項もある。



89

## ロータリー財団

1917年、アトランタ国際大会でアーチC.クラフが、「全世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野でよりよいことをするために基金をつくろう」と提唱。



90

最初の寄付金は、  
カンサスシティ大会の  
余剰金26ドル50セント



1931年ロータリー財団に



91

## ロータリー財団の標語

「世界で良いことをしよう」

“Doing good  
in the world”



92

## ロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を  
改善し、教育への支援を高め、  
貧困を救済することを通じて、  
世界理解、親善、平和を達成  
できるようにすることです。



93

## 「未来の夢」計画

未来の夢とは、人道的プロジェ  
クトや教育的プロジェクトを実施  
する地区やクラブをサポートす  
るためのロータリー財団の申し  
いモデルです。



94

未来の夢計画は戦略計画の一環。  
この新しい補助金は、ロータリーの  
戦略計画が掲げる5つの中核的価  
値観(奉仕、親睦、多様性、高潔性、  
リーダーシップ)に沿った活動を  
実施することで、地元や海外で人々  
に奉仕し、より良い世界を実現する  
ことを目指しています。



95

## 未来の夢計画の重点分野

ロータリー財団管理委員会は、新しい  
補助金構成における6つの重点分野を  
特定しました。

この重点分野は、ロータリアンが世界中で  
取り組んでいる緊急かつ重要な人道的二  
ーズや課題を反映したもの。ロータリーが  
取り組む他の国際的な開発活動とも調和  
するほか、財団の使命を助長するもの。



96



## なぜ「未来の夢」が 必要なのか

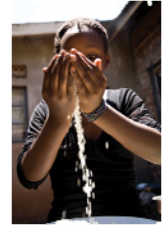
さらに大きな成果をもたらし、  
一般の認知度を高めるには、  
効率を高め、行動の焦点を絞  
る必要性が高まっています。



97

## 未来の夢計画の目標

- ・プログラムと運営を簡素化すること
- ・グローバルな成果が期待できるロータリアン  
の奉仕活動に焦点を絞ること
- ・地元と海外、両方の活動を支援すること
- ・地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること
- ・ロータリーの公共イメージを向上させること



98

## 新しい補助金

- 地区補助金
- グローバル補助金
- パッケージグラント



パッケージグラント

99







## 新しい補助金



100

## グローバル補助金

### 6つの重点分野

-  平和と紛争予防／紛争解決
-  疾病予防と治療
-  水と衛生
-  母子の健康
-  基本的教育と識字率向上
-  経済と地域社会の発展



101

## Eクラブ

ロータリーEクラブとは、オンラインで例会を開くロータリー・クラブです。2010年6月30日より、ロータリーEクラブは正式に国際ロータリーの加盟クラブとなりました。

2013年4月 規定審議会で、地区内に2クラブの枠が取れ、いくつ作ってもいいことになりました。



102

例会は毎週1回、24時間、ホームページ上で開催します。クラブの全ての会務はホームページ上で行い、各自が1週間以内にホームページに掲載されているロータリーの理念や奉仕活動実践などを閲覧し、それに対する意見を書き込んだり、自分自身の体験談や参加した奉仕体験などを書き込むことにより例会とします。また時には、双方向の討論会などの形式を伴うこともあります。



103

身体的事情、地理的事情、仕事のスケジュールなどの理由で、決まった時間の例会に行くことができないという事業・専門職・地域のリーダーにとって、Eクラブは、ロータリー・クラブ入会の可能性をもたらす選択肢となります。ロータリーEクラブは一つの地区に割り当てられますが、会員は、ロータリーが存在する国や地域ならどこに住んでいても構いません。



104

基本的にはホームページ上でのお互いのコミュニケーションとなりますが、時には、会員一同が親睦のために実際に顔を会わしての会合を持つこともあります。

**「リアルミーティング」が大切！**  
**ロータリーEクラブ2730**  
**ジャパンカレント**



105

北海道2500ロータリーEクラブ  
東京ピースウィングロータリーEクラブ  
東京米山ロータリーEクラブ  
2750愛知ロータリーEクラブ  
Rotary E-Club Sunrise of Japan  
ワールド大阪ロータリーEクラブ  
日本ロータリーEクラブ2650  
HYOGOロータリーEクラブ  
福山ロータリーEクラブ2710



106

**ポール・ハリス墓碑**  
マウントホープ霊園



107

**第2730地区の皆様**  
**長時間、ご清聴ありがとうございました。**  
**感謝申し上げます。**  
**また、お会いしましょう。**



108